第14回キャンパスベンチャー

審査講評

CVG東北審査委員会委員長　松田　宏雄

起業に向けた実行力高く評価

今年も例年と同じく多数の応募をいただき、大変楽しい審査機会を提供してくれた学生諸君へ心からお礼申し上げます。

それぞれ個性ある起業提案でありましたので、すべてをプレゼンテーションと質疑応答による評価を審査でお聞きしたいと行いました。

ここ数年の応募内容は、総体的にはモノづくり・食品系事業提案から情報技術を応用する提案にシフトしている傾向が見られますが、プレゼンテーション審査に残った6件は分野に偏りはなく、バラエティーに富んだ内容でした。

以上のような応募・審査状況において最優秀賞に選ばれた東北大学吉川諒さんの提案は、さまざまに展開されているコーヒーショップ事業の一階層上（メタ層）を狙った味検索機能を構築するもので、事業成立を疑わせる点も多々あるものの、自らコーヒー店を出店しながらシステム提供もスタートした実行力が高く評価されました。コーヒー通の皆さんから多くの賛同が得られて有効な検索システムへ発展されることを期待します。

特別賞では、東北大学計良衛さんの学生らしく受験勉強の効率化を狙った新規性のある提案を、米沢工業高校専攻科佐藤樹さんのグループが地元果樹農家の重労働をなんとか助けたい思いをにじませた提案であることを、それぞれ評価しました。

奨励賞となった青森公立大学高橋海帆さんグループは、震災被災地東北に非常食ストックが進まない現状を打開したいという問題意識を評価させていただきました。

いずれも粗削りであるものの、賞へチャレンジする姿勢は既に起業家への第一歩と言えます。次年度以降も地域の特徴ある活動や学校生活に基づく応募が多数寄せられることを期待します。

最優秀賞を含め各賞の栄冠に浴された皆さまには、心からお祝い申し上げます。本当におめでとうございました。

審査委員からは鋭い質問が出された

プレゼンに熱がこもる

特別賞　日刊工業新聞社賞

佐藤さん

農家をお助け！ プリンティングビジネス事業

山形県立米沢工業高校専攻科　佐藤　樹　大地　佳汰

果実落下防ぐフック開発

近年自然災害が多発し、農作物への被害が深刻化している。高齢化が進む農家にとっては作業軽減も課題だ。果物の落下防止用に簡単に取り付けられる固定具を提案する。

地元の山形県米沢市の一部果物農家は、台風による落下を防ぐために市販のネットとヒモで果実と木の枝を一つずつ手作業で固定している。この作業を軽減するため、ネットを固定するフックを3Dプリンターを使って開発した。

素材には生分解性プラスチックのポリ乳酸を使用する。環境中の微生物により二酸化炭素と水に分解されるため、地上に落ちたフックを拾い集める必要がない。ヒモで固定するのに比べて枝に負担がかかりづらい利点もある。

事業を通じて、農家が快適に作業できる環境を整えるのと同時に、農作物の安定供給に寄与したい。

奨　励　賞

高橋さん

「非常食」と書いて「ごはん」と読む

青森公立大学　高橋　海帆　佐藤　実衣奈　寺山　麻佳子

選ぶ楽しさ　安心感も提案

日本中で災害が多発する中、どれだけの家庭が非常時のために食料を備蓄しているだろうか。購入時に楽しく選べ、災害発生時も食事による安心感を味わえるようにとの願いを込め、新たな非常食を提案する。

主食や主菜、副菜、汁物などの4品を1セットとして販売。購入者が好きなメニューを組み合わせることができる。選ぶ楽しさがあれば2度目以降の購入につながり、常に新鮮な食料を備蓄しておけると考えた。地元青森県の食材を中心に使い、地場企業と連携してメニューを作成することを検討している。

非常時も日常に近い食事が取れることで心にゆとりができ、被災者は復旧、復興に積極的に取り組めるようになるのではないか。事業を通じて、災害を乗り越えるために必要なエネルギーと希望を多くの人に届けたい。

CVG東北審査委員会　（敬称略）

◇委員長
松田　宏雄（産業技術総合研究所東北センター所長）
◇委　員
蘆田　和也（東北経済産業局地域経済部長）
堀　豊（宮城県産業技術総合センター所長）
江部　卓城（東北経済連合会常務理事事務局長）
佐久間　直勝（宮城産業人クラブ副会長）
福田　大輔（フクダ物産社長）
拝原　泰介（日刊工業新聞社東京支社長）

東北地区4産業人クラブ

宮城産業人クラブ　会長　工藤治夫
仙台市青葉区上杉1丁目5-15
日本生命仙台勾当台南ビル
TEL：022-225-8734
FAX：022-225-8736

山形産業人クラブ　会長　松村英一
山形市本町2-1-2
富国生命ビル
TEL：023-631-8932
FAX：023-631-8797

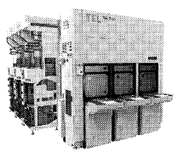
福島産業人クラブ　会長　百田昭洋
福島市太田町8-8
リアルスウィート福島駅前203
TEL：024-573-6105
FAX：024-573-6106

いわき産業人クラブ　会長　竹内三男
福島市太田町8-8
リアルスウィート福島駅前203
TEL：024-573-6105
FAX：024-573-6106

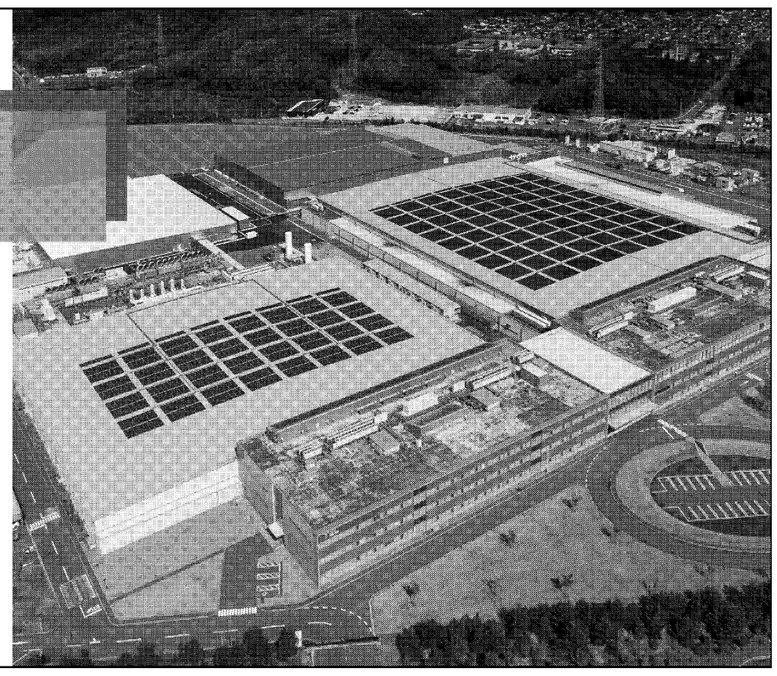
Shelter® 木造都市®のパイオニア　株式会社 シェルター
本　社／山形市松栄 1-5-13　tel.023-647-5000
東京支社／港区芝 5-13-15 芝三田森ビル　tel.03-5418-8800
仙台支社／仙台市青葉区本町 2-18-21 タケダ仙台ビル　tel.022-797-5800
www.shelter.jp

お客さまからのご要望にお応えいたします。
わたしたちユアテックは、総合設備エンジニアリング企業として、
お客さまが求めている心ゆたかな生活の実現に向けて、
電気、空調・給排水、情報通信、土木・建築、
リニューアル
分野において
安全で快適な環境づくりを
お手伝いいたします。
本　社／仙台市宮城野区榴岡4丁目1-1　〒983-8622　TEL.022-296-2111
東京本部／東京都千代田区大手町2丁目2-1　〒100-0004　TEL.03-3243-7111
支　社／青森・岩手・秋田・宮城・山形・福島・新潟・北海道・東京・横浜・大阪
総合設備エンジニアリング企業
Yurtec 株式会社 ユアテック
http://www.yurtec.co.jp/

宮城から世界へ技術発信する
半導体製造装置の
リーディングカンパニー



プラズマエッチング装置 Tactras™



TEL 東京エレクトロン宮城株式会社
エンジニア募集中！ 東京エレクトロン宮城 採用 検索

日刊工業新聞のニュースを親しみやすく読めるウェブサイト、もうアクセスしましたか？
ニュースイッチ NEWSWITCH
http://newswitch.jp/
ニュースイッチとは？
日刊工業新聞社のニュースをはじめとするコンテンツを、もっと新鮮に、親しみやすくお届けするサイトです。
少し硬い、難しいニュースをわかりやすく、または詳しく。話題のニュースから、小さいけれどちょっと面白いニュースを幅広い読者へ。
そしてニュースを起点に、コミュニティーを少しずつ作っていけたらと考えています。
1 話題のテーマ
「インダストリー・4.0」、「MRJ・航空・宇宙」、「ロボット」、「コンビニ&SPA」など新聞とは一味違うテーマを常時10以上用意。独自記事も配信します。
2 記者が記事選定・コメントをプラス
日刊工業新聞の記者や外部の専門家がテーマごとに気になる記事を紹介、コメント。一般の方も会員登録（無料）すれば自由にコメントできます。
3 多彩なサービスとの連携
日刊工業新聞で好評連載中の「リケジョ小町」を拡大展開。また、展示会やセミナーと連動した企画、リアルイベントなども随時開催しています。
日刊工業新聞社
PCでも、スマホでも。
http://newswitch.jp/